

これまでの議論の取りまとめに向けた検討（案）

■ 「女性と経済」検討を行う背景と基本的視点

- 生産年齢人口の減少局面を迎えた我が国においては、性別、年代等を超えた幅広い層の人々が等しく参画する機会を得、その能力を十分に発揮ができるようにしていくことが、経済社会の活性化のために不可欠である。
- そのため、本ワーキング・グループでは、女性の活躍が経済社会に与える影響について議論を行うとともに、女性の活躍を進めるための方策について検討を行う。
- 雇用の分野に加え、自営業、地域活動、非営利活動など幅広い分野において多様な人々が「出番」と「居場所」を得ることは、持続可能で均衡ある成長を目指す上で重要である。さらに、農山漁村等の地域の活性化に向けた多様な人材の活躍促進が不可欠である。
- サービス産業を基軸とする「知識集約型社会」へ移行しつつある先進諸国では、家族に対する支援策等を、子供や家庭の貧困撲滅・福祉の強化などに加え、子供の発達促進、女性の参画促進など、人材の育成・活躍支援という観点からも捉えている。

■ 検討にあたっての論点例

[教育、キャリア構築支援]

- 教育を「人的資本向け公的投資」と考える視点
- 性別にとらわれない、個性と能力に応じた学習指導・進路決定
- 学習やキャリア構築の場における適切なロールモデル、ネットワーク、カウンセリング等の提供
- 社会人としての自立に向けた、生涯を通じた教育

[働き方]

- 労働時間を含む働き方の見直しにあたっては、健康の維持、家庭責任を果たすという観点が重要
- 非正規雇用が増加する中での人材育成や、キャリア構築等の在り方

[農林水産業、自営業、起業、非営利活動等]

- 農林水産業、自営業における女性の所得の明確化、経営参画の確保
- 起業を促進するための条件整備
- 地域の活性化に向けた多様な人材の活躍促進の視点

[社会制度]

- 性別等にかかわらず、多様な人材の生涯を通じた活躍を可能とするための社会制度の検討
- 経済的な困難に加え、幅広い困難を社会全体でカバーする仕組み

[男女共同参画を進めるための基盤]

- 「共依存（注）」からの脱却

（注）男性は女性を排除することで、競争の激化を防ぐ。女性は「女性であること」を理由に、競争への参加をしないですむ。（勝間和代委員提出資料）

- 個別の問題を解決するアプローチと、その積み上げによる変革
- 男女共同参画社会を実現するための、具体的な新しいキャッチフレーズ
- 多様なサービスの開発・提供を可能とする条件整備